電気・空調設備工事特記仕様書

Ⅰ　工事名称　　島ヶ原会館 耐震補強工事

Ⅱ　工事場所　　三重県伊賀市島ヶ原地内

Ⅲ　建物概要

建物名称	構　造	延面積（㎡）	消防令の適用	備　考
島ヶ原会館	ＲＣ造２階建て	＊＊＊＊　㎡		

Ⅳ　工事仕様　　＊包含工事の場合、◆印の項目及び事項については元請業者の業務内容に含むものとする。

項　目	特　記　事　項
１．施行基準	図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。 ＊国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書　最新版」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築設備工事標準図　最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築改修工事標準仕様書　最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」　最新版 ＊国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針２００５年版」 ＊消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む） ＊その他関連法規、関連諸基準
２．一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお設計図書のとおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。
・施工計画等	請負者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。 ◆総合施工計画書 ＊詳細施工図（施工図リストを含む） 主要機器、重量機器、３ｋｇ超過吊器具等については固定方法、吊り方法等の詳細図を作図し充分な耐震性能を確保する施工法を提案すること。 なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。
・工事使用材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。 ＊使用機材届出書（メーカーリスト） ＊機器明細図（主要機器の耐震計画書を含む） ＊カタログ・製作図・その他諸資料 なお、機器及び材料等の選定にあたっては見積メーカー（参考）及び国土交通省大臣官繕部監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿（最新版）又は、これらと同等以上のものとする。 また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。
◆工程表	関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。 なお月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。
◆工事写真	建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂第２版）－建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。 なおＣＤの提出部数は「電子納品」を参照 ＊全写真をサムネールにて印刷（Ａ４版用紙に両面印刷にて１５枚程度／ページ）　１部 ＊代表写真（不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、搬出状況等）を抽出しＬ判相当サイズで印刷。　（Ａ４版用紙に両面印刷にて３枚／ページ）　１部
◆完成写真	主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、Ｌ判相当サイズで印刷する。 （Ａ４版用紙に３枚／ページ）１部 撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。
・完成書類	工事が完成した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。 書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。 ◆工事完成報告書、工事目的物引渡書、完成写真 ◆製本図面（竣工図、施工図）：図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 印刷サイズは、原図サイズ及びＡ３縮小版とし、部数は監督員の指示による。 白焼き（青焼き不可）で文字潰れのないこと。表紙（可能な範囲で背表紙にも）に「年度、工事名、工期、竣工図（又は施工図）、請負者名」を印字（シール不可）すること。 ◆引渡目録、工事書類預り書 ◆工事書類（工事写真、工事日報、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等） ＊工事書類（打合記録、工事材料搬入報告） ＊完成図書（試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写し等） ＊官公署手続き書類等（検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等） ＊その他監督員の指示する書類 ただし、作成しがたい場合は、監督員との協議による。 なお、完成書類の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。
・完成時の操作説明	操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。 また、必要に応じて簡易な操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。
・完成確認、完成検査時の電源確保	機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。

項　目	特　記　事　項
◆足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省　平成２１年４月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）手すり据置方式又は（３）手すり先行占用足場方式により行うこと。
◆施工条件	監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。
◆事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。
◆建設副産物	新築増築の延べ面積が５００㎡以上の工事、及び修繕又は模様替えは請負額１億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、請負者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」（建設資材を搬入する場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物を搬出する場合）を施工計画書に綴じ込んで監督員に提出する。 また、工事が変更又は完了した場合には「再生資源利用実施書」（建設資材を搬入した場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物を搬出した場合）を作成し、監督員に提出する。 計画書及び実施書の提出とともにＪＡＣＩＣが運営する「建築副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せておこなう。
・発生材の処理等	引き渡しを要するもの（　　） 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 特別管理産業廃棄物　（　　） 処理方法　（　　） なお施工に際して、ＰＣＢ等特別管理産業廃棄物、及び疑わしき機器等を発見した場合は監督員に報告し対応を協議するものとする。 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。　引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。 （マニフェストＡ、Ｅ票の写を監督員に提出する）
・残土処分	☑構内敷きならし　□場外搬出（片道運搬距離　約　　ｋｍ）
◆電子納品	工事写真は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。（提出部数　※２部・　部） 工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」等に基づき電子媒体も提出すること。（提出部数　※２部・　部） 竣工図・施工図のＣＡＤデータ（オリジナルとＤＸＦまたはｐ２１）及びＰＤＦを格納。 機器完成図と取扱説明書のＰＤＦを格納すること。
・諸手続	工事に伴う関係官公署、電力会社等への諸手続きは、請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。
・消防提出書類	消火器の設置届については、機械設備にて設置届を提出する必要がある場合、消火器についても併せて届出を行うこと。 防火対象物使用開始届については、書類の作成（機械設備図面の用意及び機械設備に関する部分の記述）を行うこと。
・既設との取合い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。
・既設設備の調査	既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に充分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行るよう工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。
◆電気保安技術者	適用する。
◆工事中の保安管理	新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、その供用開始から引渡しまでの電気保安管理にかかる費用は本工事に含まれる。
◆不当介入を受けた場合の措置	暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第２条第１項第１項第１０号）を受けた場合の措置について （１）受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第２条第１項第１項第８号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 （２）（１）により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。 （３）受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
３．耐震基準	耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成８年版」（建設大臣官房長官庁営繕部監修）及び「建築設備耐震設計・施工指針（２００５年版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修）による。 （１）局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度（Ｋｓ） （２）地域係数は１．０とする。 （３）自重が１００ｋｇ以下の比較的軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）の取付については、取付下地を入念に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。 （４）配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。 （５）耐震安全性の分類 本施設は、構造体（　　）類　建築非構造部材（　　）類　建築設備（　　）類 （６）機器の耐震計算書を提出すること。 重量１ｋＮ（１００ｋｇ）以上のアンカー取付機器 ※盤類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水槽類、その他監督員が指示するもの。

項　目	特　記　事　項
４．施工	（１）配管架台 ・屋外露出及び多湿箇所（トレンチピット等）の配管架台は、ＳＵＳ又はＳＳ溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 （２）絶縁処理 ・機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。 （３）はつり ・既設のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターを使用すること。 （４）再使用機器 ・取外し再使用機器は、清掃、絶縁測定及び機能確認のうえ取付ける。なお施工前後で比較をおこなえるよう、工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。 （５）アンカーボルト ・屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー（ステンレス製）とする。 （６）塗装 ・指定色で２回塗りとする。 金属管、２種金属線ぴ、吊りボルト、支持具等鋼板製（ＳＵＳ、溶融亜鉛メッキ、樹脂製は除く）は原則として塗装を施すこと。 （７）保護キャップ等 ・レースウェイ等のダクタークリップが、人が容易に近づける場所、高さ（おおよそ２m以下）にある場合は保護キャップを取り付けること。 （８）防火区画部は国土交通大臣認定工法にて防火区画処理を行うこと。
５．その他	（１）使用機械 ・低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 （２）測定機器の校正記録 ・工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。 （３）設計図書上に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。

指定資機材適用規格及びメーカーリスト

分　類	資 機 材 名	適 用 範 囲	規 格 ・ メ ー カ ー 等
電線	電線、ケーブル類（エコ電線・ケーブルを優先使用）	一般配線工事に使用するもので、エコ電線・ケーブルのあるもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＣＳ（日本電線工業会規格）規格適合品
		上記以外の一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品
	耐火、耐熱電線	耐火・耐熱性を必要とする場所に使用するもの	●登録認定機関（（社）電線総合技術センター）または指定認定機関（（社）日本電線工業会（耐火・耐熱電線認定業務委員会））により認定または評定されたもの ●（社）日本電線工業会により自主認定（評定）されたもの
	圧着端子 裸圧着スリーブ	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品
電線保護物類	金属管、ＶＥ、ＰＦ、ＨＩＶＥ、ＦＥＰ、ＣＤ、合成樹脂製可とう管、可とう電線管、フロアダクト、各付属品	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＩＳ規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
配線器具	コンセント、スイッチ	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＩＳ規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
照明器具	蛍光灯器具（省エネ型を優先使用）		●ＪＩＳ規格適合品 ●（社）日本照明器具工業会標準（ＪＩＬ規格）適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
換気扇	窓用換気扇		●ＪＩＳ規格適合品
盤類	分電盤、実験盤		●ＪＩＳ規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
自動火災報知装置	感知器、発信機、中継器、受信機、漏電火災警報器		●登録検定機関（日本消防検定協会）の検定を受け、検定合格証票が貼付されたもの
管	塩化ビニル管（継手共）		●ＪＩＳマーク表示品／水マーク表示品
保温材	ＲＷ・ＧＷ保温材		●ＪＩＳマーク表示品
銅管	冷媒用		イノアックコーポレーション／神戸製鋼所／住友軽金属工業／三菱マテリアル／又は同等品以上
銅管継手	冷媒用		イノアックコーポレーション／東洋フィッティング／又は同等品以上
空気調和機	ＥＨＰ		ダイキン工業／東芝／日立製作所／ＰＡＮＡ／三菱重工／三菱電機／又は同等品以上

注　・「ＪＩＳ規格適合品」と指定された資材は、工業標準化法に基づく適合の表示（製品・包装の外面、容器の外面、結束荷札ごとの納品書にＪＩＳマーク表示、またはＪＩＳ規格証明書等の添付）のあるものをいう。
・「設備機材等評価名簿」とは、国土交通省官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（電気設備 機 材 機械設備機材）」の最新版をいう。ただし、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれ、評価の有効期間内にある場合にのみ有効とする。
・「設備機材等評価名簿」に記載されていないメーカーの資機材を使用する場合は、評価基準と同じ条件を満たすことを証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。
・特殊仕様の資機材を使用する必要がある場合は、仕様、性能等を証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。

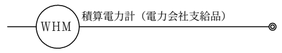
PROJECT 島ヶ原会館 耐震補強工事			PROJECT NO.
DRAWING 特記仕様書			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E－1(15)

盤名称	結線図	回路番号	制御方式	分岐開閉器 ELB	MCB	P	AF/AT	電圧（V）	負荷容量（kw）	負荷名称	備考
SW－2 （屋外防雨型）	3φ3W 200° C 3PMCB 400/350 A A A TOTAL=53.746(76.76)kw										
			C								
			A		○	3	225/225	200	38.95	1MA－1へ	低温暖房－ 51.63
			A		○	3	100/ 60	200	4.29	1MA－1へ	低温暖房－ 8.49
			A		○	3	100/100	200	10.506	1MA－1へ	低温暖房－ 16.64
1MA－1 （屋外防雨型）	3φ3W 100° TOTAL=38.95(51.63)kw										
			A		○	3	50/ 20	200	2.26	空調室外機 AC－1	低温暖房－ 2.26
			A		○	3	30/ 15	200	1.42	空調室外機 PAC－2	低温暖房－ 2.50
			A		○	3	50/ 30	200	3.83	空調室外機 PAC－4	低温暖房－ 6.00
			A		○	3	50/ 30	200	4.29	空調室外機 PAC－7	低温暖房－ 6.13
			A	○		3	100/ 60	200	9.05	空調室外機 PAC－9	低温暖房－ 11.58
			A	○		3	100/ 60	200	9.05	空調室外機 PAC－9	低温暖房－ 11.58
			A	○		3	100/ 60	200	9.05	空調室外機 PAC－9	低温暖房－ 11.58
1MA－2 （屋外防雨型）	3φ3W 14° 3PMCB 100/60 TOTAL=4.29(8.49)kw										
			A	○		3	50/ 20	200	1.43	空調室外機 PAC－3	低温暖房－ 2.83
			A	○		3	50/ 20	200	1.43	空調室外機 PAC－3	低温暖房－ 2.83
			A	○		3	50/ 20	200	1.43	空調室外機 PAC－3	低温暖房－ 2.83
2MA－1 （屋外防雨型）	3φ3W 38° 3PMCB 100/100 TOTAL=10.506(16.64)kw										
			A	○		3	30/ 15	200	0.836	空調室外機 PAC－1	低温暖房－ 1.82
			A	○		3	50/ 20	200	1.52	空調室外機 PAC－5	低温暖房－ 2.50
			A	○		3	50/ 30	200	4.29	空調室外機 PAC－7	低温暖房－ 6.13
			A	○		3	50/ 30	200	3.86	空調室外機 PAC－8	低温暖房－ 6.19

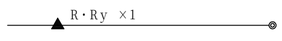
A

B

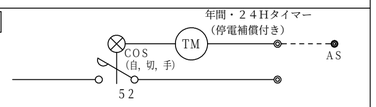
C



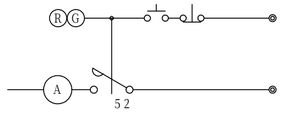
D



E



F



4．電気設備工事指定資機材適用規格及びメーカーリスト　平成２３年４月１日改訂【平成２３年度】

分類	資機材名	適用範囲	規格・メーカー等
電線	電線、ケーブル類（エコ電線・ケーブルを優先使用）	一般配線工事に使用するもので、エコ電線・ケーブルのあるもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＣＳ（日本電線工業会規格）規格適合品
		上記以外の一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品
	耐火、耐熱電線	耐火・耐熱性を必要とする場所に使用するもの	●登録認定機関（（社）電線総合技術センター）または指定認定機関（（社）日本電線工業会（耐火・耐熱電線認定業務委員会））により認定または評定されたもの ●（社）日本電線工業会により自主認定（評定）されたもの
	圧着端子 裸圧着スリーブ	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品
電線保護物類	金属管、ＶＥ、ＰＦ、ＨＩＶＥ、ＦＥＰ、ＣＤ、合成樹脂製可とう管、可とう電線管、フロアダクト、各付属品	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＩＳ規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
配線器具	コンセント、スイッチ	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＩＳ規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
照明器具	蛍光灯器具（省エネ型を優先使用）		●ＪＩＳ規格適合品 ●（社）日本照明器具工業会標準（ＪＩＬ規格）適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
盤類	分電盤、実験盤		●ＪＩＳ規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	制御盤		●（社）日本配電制御システム工業会規格（ＪＳＩＡ）適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	キュービクル式配電盤		●ＪＩＳ規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
高圧機器	高圧限流ヒューズ、高圧負荷開閉器、高圧避雷器		●ＪＩＳ規格適合品 ●（社）電気学会電気規格調査会規格（ＪＥＣ）適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	断路器		●ＪＩＳ規格適合品 ●（社）電気学会電気規格調査会規格（ＪＥＣ）適合品
遮断器	高圧交流遮断器		●ＪＩＳ規格適合品 ●（社）電気学会電気規格調査会規格（ＪＥＣ）適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	配線用遮断器、漏電遮断器		●ＪＩＳ規格適合品
変圧器	高圧変圧器	特定機器	●（社）日本電機工業会規格（ＪＥＭ）適合品のトップランナー変圧器 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
		特定機器以外の変圧器	●ＪＩＳ規格適合品 ●（社）電気学会電気規格調査会規格（ＪＥＣ）適合品
コンデンサ	高圧進相コンデンサ	直列リアクトルを含む	●ＪＩＳ規格適合品 ※コンデンサのメーカーは「設備機材等評価名簿」による
	低圧進相コンデンサ	直列リアクトルを含む	●ＪＩＳ規格適合品
計器用変成器	計器用変圧器、計器用変流器		●ＪＩＳ規格適合品 ●（社）電気学会電気規格調査会規格（ＪＥＣ）適合品
計器	電圧計、電流計、周波数計、力率計、電力計、電力量計（無検定、検定付）、他		●ＪＩＳ規格適合品
継電器	保護継電器		●ＪＩＳ規格適合品 ●（社）電気学会電気規格調査会規格（ＪＥＣ）適合品
マンホール ハンドホール	蓋	鋳鉄製	※メーカーは「設備機材等評価名簿（機械設備機材評価名簿　鋳鉄製ふた）」による
	桝	レディミクストコンクリート、セメント	●ＪＩＳ規格適合品

注　・「ＪＩＳ規格適合品」と指定された資材は、工業標準化法に基づく適合の表示（製品・包装の外面、容器の外面、結束荷札ごとの納品書にＪＩＳマーク表示、またはＪＩＳ規格証明書等の添付）のあるものをいう。
・「設備機材等評価名簿」とは、国土交通省官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（電気設備 機 材 機械設備機材）」の最新版をいう。ただし、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれ、評価の有効期間内にある場合にのみ有効とする。
・「設備機材等評価名簿」に記載されていないメーカーの資機材を使用する場合は、評価基準と同じ条件を満たすことを証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。
・特殊仕様の資機材を使用する必要がある場合は、仕様、性能等を証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。

PROJECT 島ヶ原会館 耐震補強工事		PROJECT NO.
DRAWING 盤類結線図･メーカーリスト		SCALE
APPROVED	CHECKED / DRAWN	DATE
		DRAWING NO. E－2

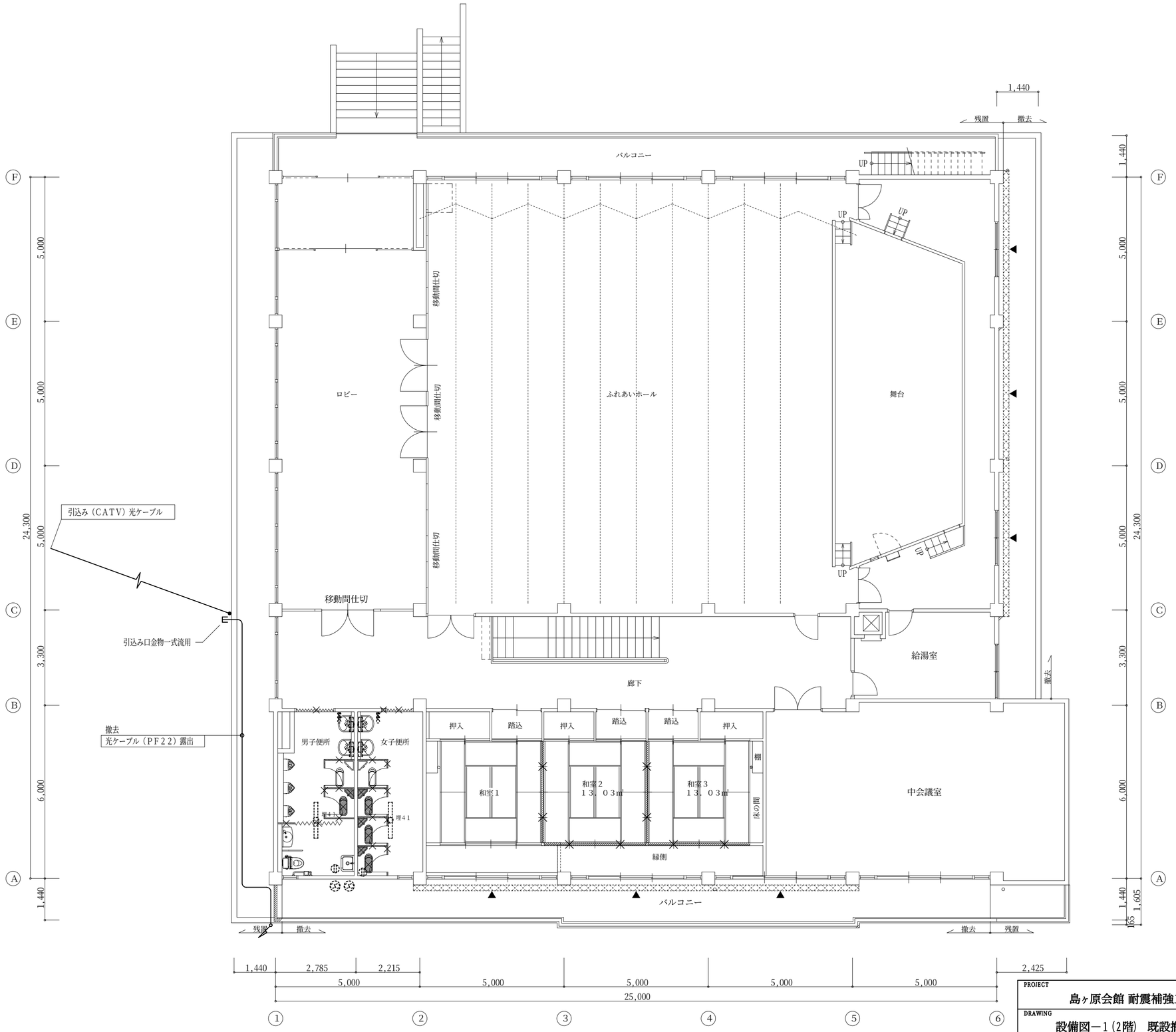
庭
鉄骨スロープ
物置
物置
UP
研修室１
会議室
多目的便所
女子便所
男子便所
駐車場
資料室
廊下
書庫
物入
倉庫
物入
倉庫
調理室
給湯室
UP
玄関ホール
切断
撤去
ＡＥ１．２－２Ｃ（コロガシ）
トイレ呼出装置〔１窓〕撤去
花壇
花壇
公民館図書室
公民館事務室
研修室２
撤去
光ケーブル（ＰＦ２２）露出
光端末装置流用
※A
※A
※A
※A
道路境界線
天井張替の為、既設器具の脱着を行うこと
照明器具（露出ＦＬ－４０Ｗ×２）～２灯
4,700
3,025
1,575
5,000
5,000
24,300
3,300
6,000
1,550
500
5,000
5,000
5,000
24,300
3,300
6,000
1,000
500
5,000
5,000
5,000
5,000
5,000
1,200
25,000
A
B
C
D
E
F
1
2
3
4
5
6

耐震工事に伴い太線部分の改修を行うこと。

※A　既設配管配線〔ＩＶ１．６×２（１９）〕を撤去し、
建築工事終了後、両端に露出ＢＯＸを取付復旧すること。
A ------ ハツリ貫通及び補修ヶ所を示す。

１　階　平　面　図　　１／１００

PROJECT 島ヶ原会館 耐震補強工事			PROJECT NO.	
DRAWING 設備図－１（1階）　既設撤去改修			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE	
			DRAWING NO. E－3	



2 階 平 面 図　1／100

PROJECT 島ヶ原会館 耐震補強工事				PROJECT NO.
DRAWING 設備図－1（2階） 既設撤去改修				SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN		DATE
				DRAWING NO. E－4

引込み（電力会社）1φ3W210V／105V，3φ3W210V

至る中電柱－01ハ547

中電－1φ－3/11．7303．01．02．01＝15k

3φ－3/11．7303．01．02．02＝33k

3φ CV 14°－3C（PF28）～2露出

動力盤（M－2）撤去

3PMCB 60／60×2

3φ IV 60°×3E14°（51）

物置

3φ CV 14°－4C（PF28）露出

1φ IV 60°×3（51）

3φ IV 60°×3（51）

※3φ配線のみ撤去

東芝－AIK－402HR

3φ200V2．08kW

東芝－AIK－402HR

3φ200V2．08kW

3φ IV 8°×3E5．5°（PF22）露出

UP

WS

引き込み開閉器盤改造

動力盤（M－1）撤去

3P15A

研修室1

会議室

3φ VVF2．0－3C（PF22）露出

多目的便所

女子便所

3φ IV 5．5°×3E2．0（25）～3

※配線のみ撤去

駐車場

資料室

廊下

男子便所

書庫

物入

倉庫

物入

3φ IV 5．5°×3E2．0（25）～2

※配線のみ撤去

倉庫

調理室

3φ VVF2．0－3C（PF22）露出

3P30A×2

UP

玄関ホール

給湯室

3P30A

花壇

花壇

公民館図書室

公民館事務室

研修室2

3φ VVF2．0－3C（PF22）露出

道路境界線

庭

5,000 5,000 5,000 5,000 5,000 1,200

25,000

500

24,300

3,300

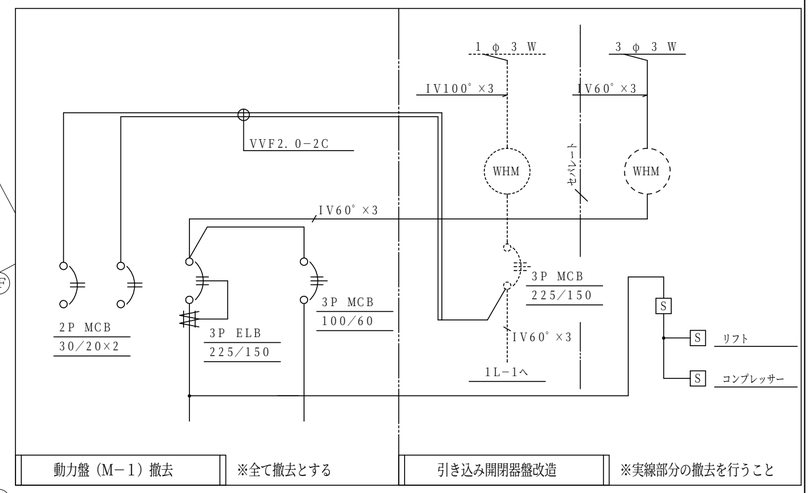
6,000

1,550

1,000

1 2 3 4 5 6

A B C D E F



動力盤（M－1）撤去　※全て撤去とする

引き込み開閉器盤改造　※実線部分の撤去を行うこと

耐震工事に伴い太線部分の撤去を行うこと。

1 階 平 面 図　1／100

PROJECT 島ヶ原会館 耐震補強工事			PROJECT NO.
DRAWING 設備図－2（1階） 既設撤去改修			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E－5

引込み（電力会社）1φ3W210V／105V，3φ3W210V

引込み口金物一式（ターミナルキャップ等）流用

1φ IV 60°×3（51）
3φ IV 60°×3（51）
※3φ配線のみ撤去

3φ CV 14°-4C（PF28）露出

移動間仕切

3φ CV 5.5°-4C（PF28）露出

3φ CV 8°-4C（PF28）露出

3φ VVF2.0-3C（PF22）露出

1,440
残置
撤去

バルコニー

UP

ロビー

ふれあいホール

舞台

給湯室

廊下

男子便所

女子便所

押入

踏込

和室1

和室2
13.03㎡

和室3
13.03㎡

中会議室

棚

緑側

撤去

残置

5,000
5,000
24,300
5,000
3,300
6,000
1,440

1,440
5,000
5,000
5,000
24,300
3,300
6,000
1,440
1,605
165

動力盤（M-3）撤去

M= 3PMCB 50/50	CV14°-4C（PF28）	
S= 3PELB 50/30	CV 5.5°-4C（PF28）	和室3
3PELB 50/30	CV 5.5°-4C（PF28）	和室1
3PELB 50/30	CV 8°-4C（PF28）	中会議室
	VVF2.0-3C（PF22）	1Fへ

1,440
2,785
2,215
5,000
5,000
5,000
5,000
5,000
2,425
25,000

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

Ⓕ Ⓔ Ⓓ Ⓒ Ⓑ Ⓐ

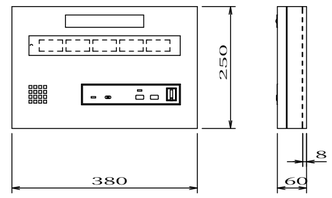
2 階 平 面 図　1／100

PROJECT 島ヶ原会館 耐震補強工事			PROJECT NO.
DRAWING 設備図－1（2階） 既設撤去改修			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E－6

庭
鉄骨スロープ
物置
物置
UP
研修室1
会議室
※A
※A
多目的便所
女子便所
駐車場
資料室
廊下
男子便所
書庫
物入
倉庫
物入
倉庫
調理室
カバーP×2
UP
給湯室
A
C（25）露出
玄関ホール
AE1.2−2C（19）露出
P.BOX200°×100
SUS(wp)
P.BOX200°×100
天井下取付
P.BOX150°×100
天井下取付
花壇
C（PF22）
C（25）露出
AE1.2−2C（コロガシ）
公民館図書室
公民館事務室
研修室2
AE1.2−3C（MMA）
（MMA）
トイレ呼出装置〔5窓〕新設
既設光端末装置流用
花壇
道路境界線
4,700
4,085
1,625
5,000
5,000
24,300
5,000
3,300
6,000
1,550
500
5,000
5,000
5,000
5,000
5,000
1,200
25,000
500
5,000
5,000
24,300
3,300
6,000
1,000
1
2
3
4
5
6
A
B
C
D
E
F

NC　5窓用呼出表示器

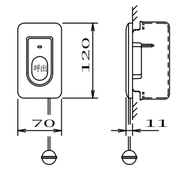
CBN−5C



電源電圧	AC100V　50／60Hz　（内部電源DC12V）
形　状	壁取付形
材　質	SPCC　t1.2
窓　数	5窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

N　トイレ呼出押ボタン

NBR−7HW



形　状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）
材　質	自己消火性樹脂
備　考	引きひも式、押ボタン式両用

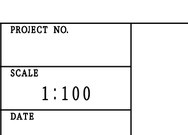
◎　廊下灯

CBR−4

形　状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックス）
材　質	パネル：ABS樹脂、ランプカバー：ポリカーボネート
表示灯	赤色LED

◉　復旧ボタン

NBR−2A−C



形　状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックス）
材　質	ABS樹脂

注1．太線部分の新設を行うこと。

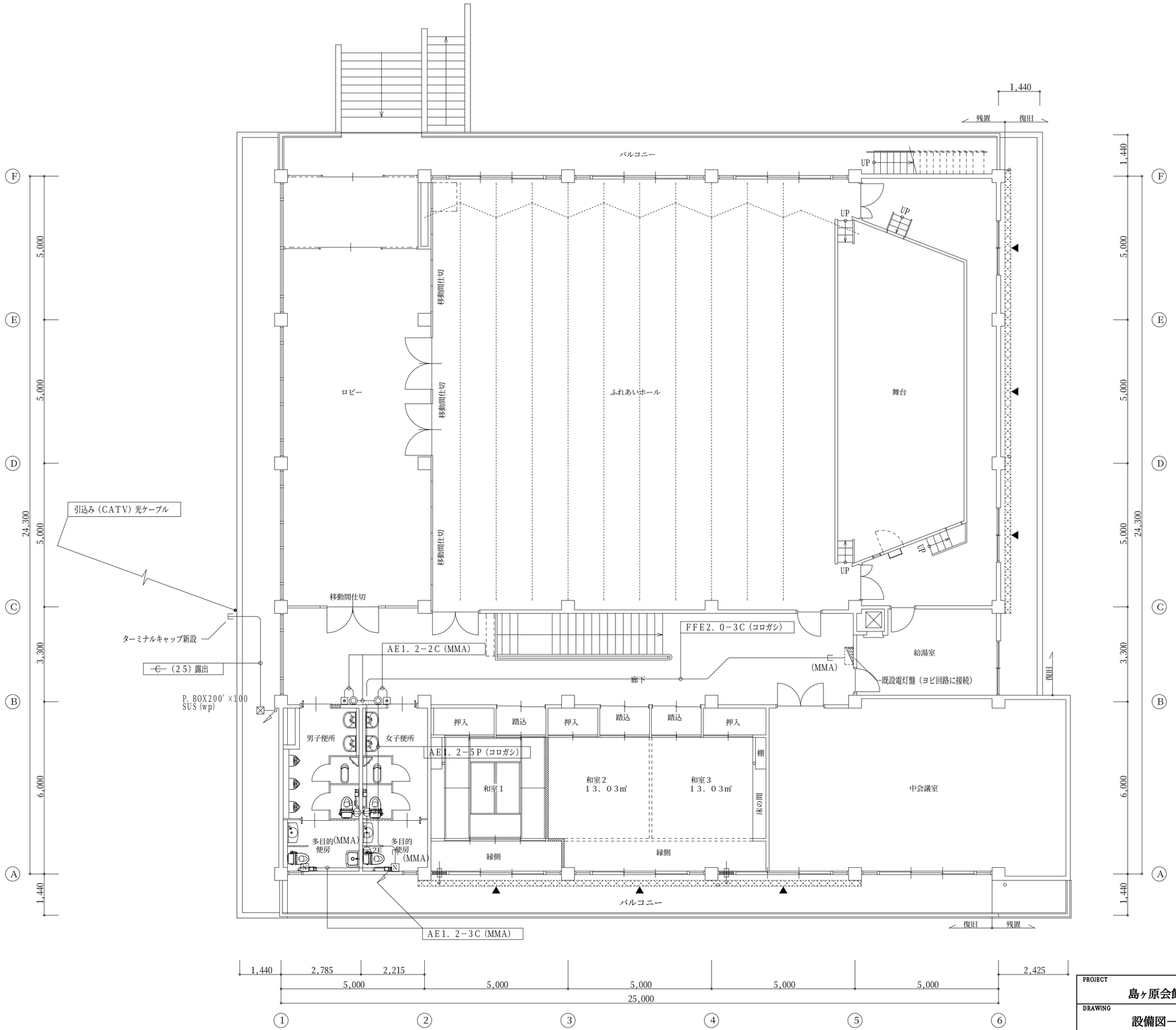
注2．耐震工事に伴い実線部分の改修を行うこと。

※A ------ 既設配管配線〔IV1.6×2（19）〕を撤去し、
建築工事終了後、両端に露出BOXを取付復旧すること。

A ------ ハツリ貫通及び補修ヶ所を示す。

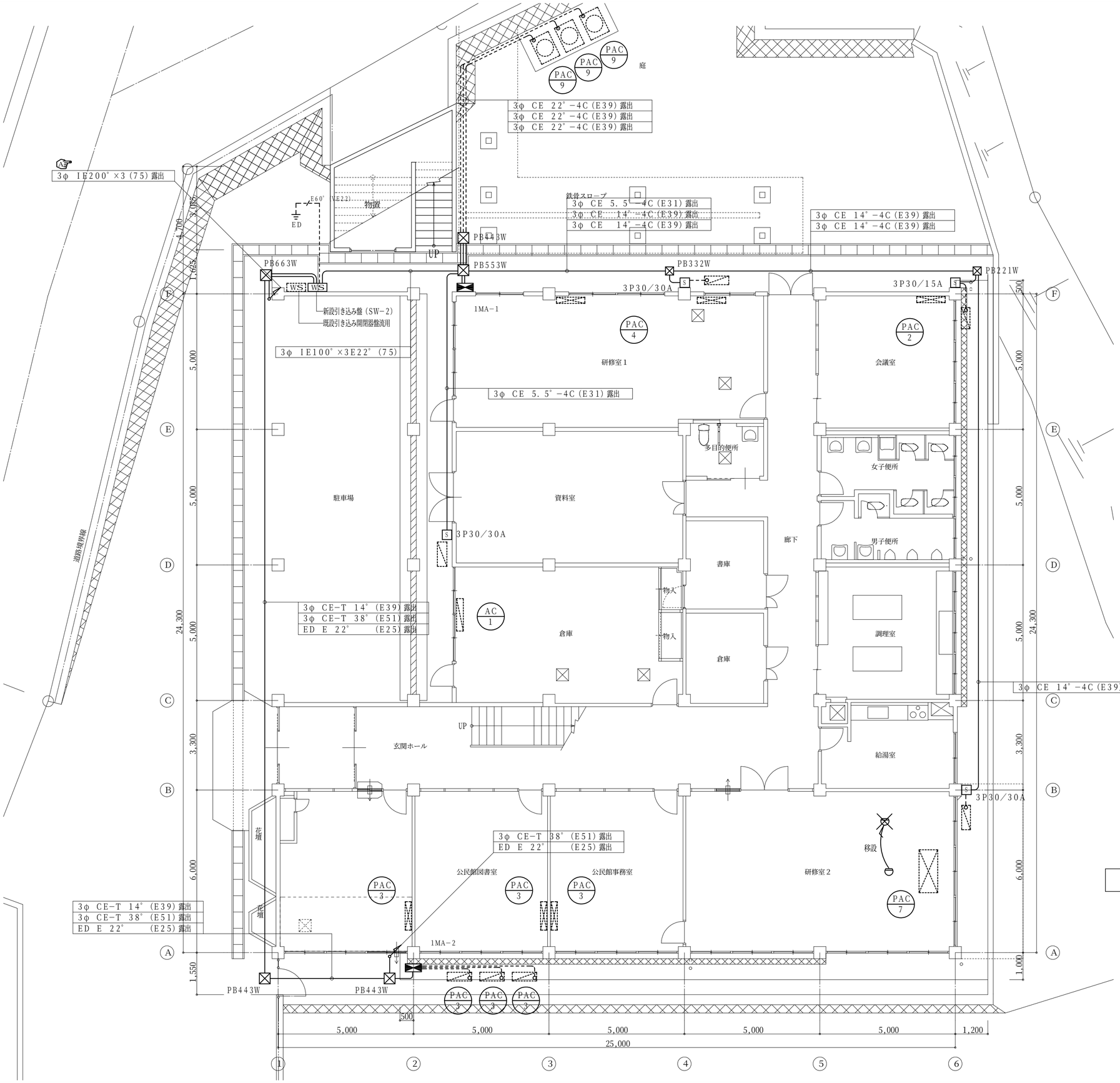
1　階　平　面　図　　1／100

PROJECT	島ヶ原会館 耐震補強工事		PROJECT NO.
DRAWING	設備図−1（1階）　改修後		SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E−7



2 階 平 面 図　1／100

PROJECT 島ヶ原会館 耐震補強工事			PROJECT NO.	
DRAWING 設備図−1（2階） 改修後			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE	
			DRAWING NO. E−8	



記号				配管・配線・開閉器
PAC 1	消費電力	冷房	0.836	CE 5.5°−4C(E31)露出
		暖房	0.936	開閉器=15A
		低温	1.82	
PAC 2	消費電力	冷房	1.42	CE 5.5°−4C(E31)露出
		暖房	1.47	開閉器=15A
		低温	2.50	
PAC 3	消費電力	冷房	1.43	CE 5.5°−4C(E31)露出
		暖房	1.64	開閉器=20A
		低温	2.83	
PAC 4	消費電力	冷房	3.83	CE 5.5°−4C(E31)露出
		暖房	3.78	開閉器=30A
		低温	6.00	
PAC 5	消費電力	冷房	1.52	CE 5.5°−4C(E31)露出
		暖房	1.65	開閉器=20A
		低温	2.5	
PAC 6	消費電力	冷房	2.80	CE 5.5°−4C(E31)露出
		暖房	2.88	開閉器=30A
		低温	4.38	
PAC 7	消費電力	冷房	4.29	CE 5.5°−4C(E31)露出
		暖房	3.78	開閉器=30A
		低温	6.13	
PAC 8	消費電力	冷房	3.86	CE 5.5°−4C(E31)露出
		暖房	3.74	開閉器=30A
		低温	6.19	
PAC 9	消費電力	冷房	9.05	CE 22°−4C(E39)露出
		暖房	8.32	開閉器=60A
		低温	11.58	

注1. 太線部分の新設を行うこと。

注2. プールボックス寸法

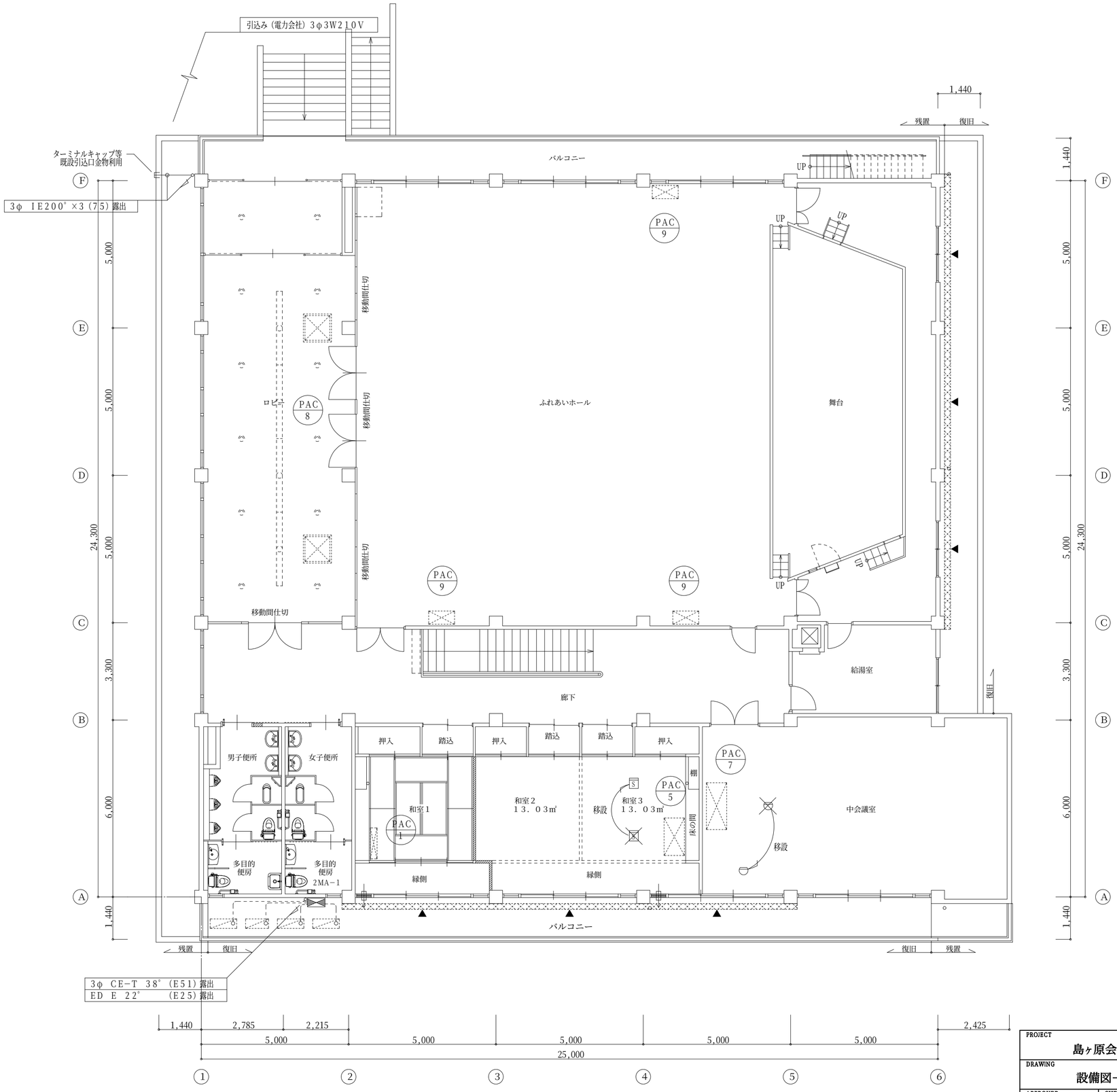
PB221	-------200×200×100
PB332	-------300×300×200
PB443	-------400×400×300
PB553	-------500×500×300
PB663	-------600×600×300

※語尾にWが付いている場合は、SUS製防雨型とする

------ ハツリ貫通及び補修ヶ所を示す。

1 階 平 面 図 1／100

PROJECT 島ヶ原会館 耐震補強工事			PROJECT NO.
DRAWING 設備図−2(1階) 改修後			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E−9



２　階　平　面　図　　１／１００

PROJECT 島ヶ原会館 耐震補強工事			PROJECT NO.
DRAWING 設備図－２（２階）　改修後			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E－10

（既設撤去）

空調機器表　空冷ヒートポンプ式エアコン

記号	機器名	機器仕様		電源容量 φ	電源容量 V	電源容量 kW	台数	設置場所	備考
AC-1	空冷ヒートポンプ式	形式	壁掛け形	3	200		1	1階倉庫	室内機重量22kg
	パッケージエアコン	冷房能力	5000 Kcal	消費	冷房	2.26			室外機重量60kg
		暖房能力	5500 Kcal	電力	暖房	2.05			
既設流用	東芝-AIK-502HR	冷媒配管	液管6.4Φ ガス管12.7Φ		圧縮機	1.5			
AC-2	空冷ヒートポンプ式	形式	壁掛け形	3	200		2	1階研修室1	室内機重量22kg
	パッケージエアコン	冷房能力	4000 Kcal	消費	冷房	2.08			室外機重量54kg
		暖房能力	4300 Kcal	電力	暖房	2.06			
	東芝-AIK-402HR	冷媒配管	液管6.4Φ ガス管12.7Φ		圧縮機	1.5			
AC-3	空冷ヒートポンプ式	形式	壁掛け形	3	200		1	1階会議室	室内機重量 9kg
	パッケージエアコン	冷房能力	4.0(0.6~4.3) kW	消費	冷房	1.24			室外機重量32kg
		暖房能力	6.0(0.6~7.5) kW	電力	暖房	2.04			R410A:1010g
	PANA-CU-404AU3	冷媒配管	液管6.4Φ ガス管9.52Φ		圧縮機	1.1			
AC-4	空冷ヒートポンプ式	形式	壁掛け形	3	200		1	1階公民館事務室	室内機重量7.5kg
	パッケージエアコン	冷房能力	4.0(1.7~4.4) kW	消費	冷房	1.82			室外機重量38kg
				電力					R22:1060g
	PANA-CS-K40K-W	冷媒配管	液管6.4Φ ガス管12.7Φ		圧縮機	1.1			
AC-5	空冷ヒートポンプ式	形式	壁掛け形	1	200		1	1階会館管理事務室	室内機重量 9kg
	パッケージエアコン	冷房能力	4.0(0.9~4.5) kW	消費	冷房	1.71			室外機重量38kg
		暖房能力	5.0(0.9~7.3) kW	電力	暖房	2.23			R410A:1100g
	ダイキン-F40HTNP-W	冷媒配管	液管6.4Φ ガス管9.5Φ		圧縮機	1.1			
AC-6	空冷ヒートポンプ式	形式	壁掛け形	1	200		1	1階公民館図書室	室内機重量12kg
	パッケージエアコン	冷房能力	4.0 kW	消費	冷房	1.37			室外機重量42kg
				電力					R22:1550g
	ダイキン-F400BTAS	冷媒配管	液管6.4Φ ガス管12.7Φ		圧縮機	1.1			
AC-7	空冷ヒートポンプ式	形式	壁掛け形	3	200		1	1階研修室2	室内機重量12kg
	パッケージエアコン	冷房能力	5.0(1.5~5.6) kW	消費	冷房	1.37			室外機重量50kg
		暖房能力	5.6(1.5~8.0)	電力	暖房	1.52			R410A:1700g
	三洋-SPW-CHRVP56A1	冷媒配管	液管6.4Φ ガス管12.7Φ		圧縮機	1.1			
AC-8	空冷ヒートポンプ式	形式	床置き形	3	200		2	2階和室1.2.3	室内機重量55kg
	パッケージエアコン	冷房能力	7100 Kcal	消費	冷房	3.02			室外機重量79kg
		暖房能力	7500 Kcal	電力	暖房	2.73			R22:2500g
	PANA-CU-71CH2-W	冷媒配管	液管9.5Φ ガス管15.9Φ		圧縮機	2.2			
AC-9	空冷ヒートポンプ式	形式	床置き形	3	200		1	2階中会議室	室内機重量60kg
	パッケージエアコン	冷房能力	11.2 kW	消費	冷房	4.55			室外機重量96kg
		暖房能力	12.5 kW	電力	暖房	4.00			R22:3200g
	PANA-CU-J112CH3N	冷媒配管	液管9.5Φ ガス管19.05Φ		圧縮機	2.61			
AC-10	空冷ヒートポンプ式	形式	床置き形	3	200		2	2階ふれあいホール	室内機重量135kg
	パッケージエアコン	冷房能力	25.0 kW	消費	冷房	8.26			室外機重量230kg
		暖房能力	28.0 kW	電力	暖房	11.7			R410:9000g
	ダイキン-FVYP280P	冷媒配管	液管12.7Φ ガス管25.4Φ		圧縮機	2.7+4.5			

◉空調設備

設計空気条件（指示なきは建設省建築設備設計基準による）

<夏季>	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%
外気条件	34.0	27.5	60.0
室内条件	26.0	---	50.0

<冬季>	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%
外気条件	0.0	-3.0	40.0
室内条件	22.0	---	成行

放熱器：◉EHP ○GHP ○FCU ○ACU

配管方式：◉冷媒配管 ○冷温水配管 ○冷却水配管 ○温水配管

配管材料：◉冷媒管 ◉ドレン管 ○冷媒用銅管 ◉冷媒用被覆銅管 ◉JIS H3300 ○配管用炭素鋼鋼管（白） ◉硬質塩化ビニル管（VP）

保温工事：○保温施工範囲は共通仕様書による。 ◉保温施工種別 ○共通仕様書による。 ◉下表による。

冷媒配管（保温厚：ガス管20mm、液管10mm〔10φ以下は8mm〕）PAC 1 ～ PAC 8

屋内露出	◉グラスウール保温筒	◉合成樹脂化粧ケース	○ステンレス鋼鈑仕上げ
屋外露出・多湿箇所	○ポリスチレンフォーム	◉合成樹脂化粧ケース	○ステンレス鋼鈑仕上げ
天井・PS内	○グラスウール保温筒	○合成樹脂カバー	◉整形用テーピング仕上げ
床下・暗渠内	○グラスウール保温筒	○合成樹脂カバー	◉整形用テーピング仕上げ

冷媒配管（保温厚：ガス管20mm、液管10mm〔10φ以下は8mm〕）PAC 9

屋内露出	◉グラスウール保温筒	◉合成樹脂化粧ケース	○ステンレス鋼鈑仕上げ
屋外露出・多湿箇所	◉ポリスチレンフォーム	○合成樹脂化粧ケース	◉ステンレス鋼鈑仕上げ
天井・PS内	○グラスウール保温筒	○合成樹脂カバー	◉整形用テーピング仕上げ
床下・暗渠内	○グラスウール保温筒	○合成樹脂カバー	◉整形用テーピング仕上げ

ドレン配管（保温厚20㎜）

屋内露出	◉グラスウール保温筒	◉合成樹脂カバー	○ステンレス鋼鈑仕上げ
屋外露出・多湿箇所	○グラスウール保温筒	○合成樹脂化粧ケース	○塗装仕上げ
天井・PS内	◉グラスウール保温筒	◉アルミガラスクロス	
床下・暗渠内	○グラスウール保温筒	○アルミガラスクロス	

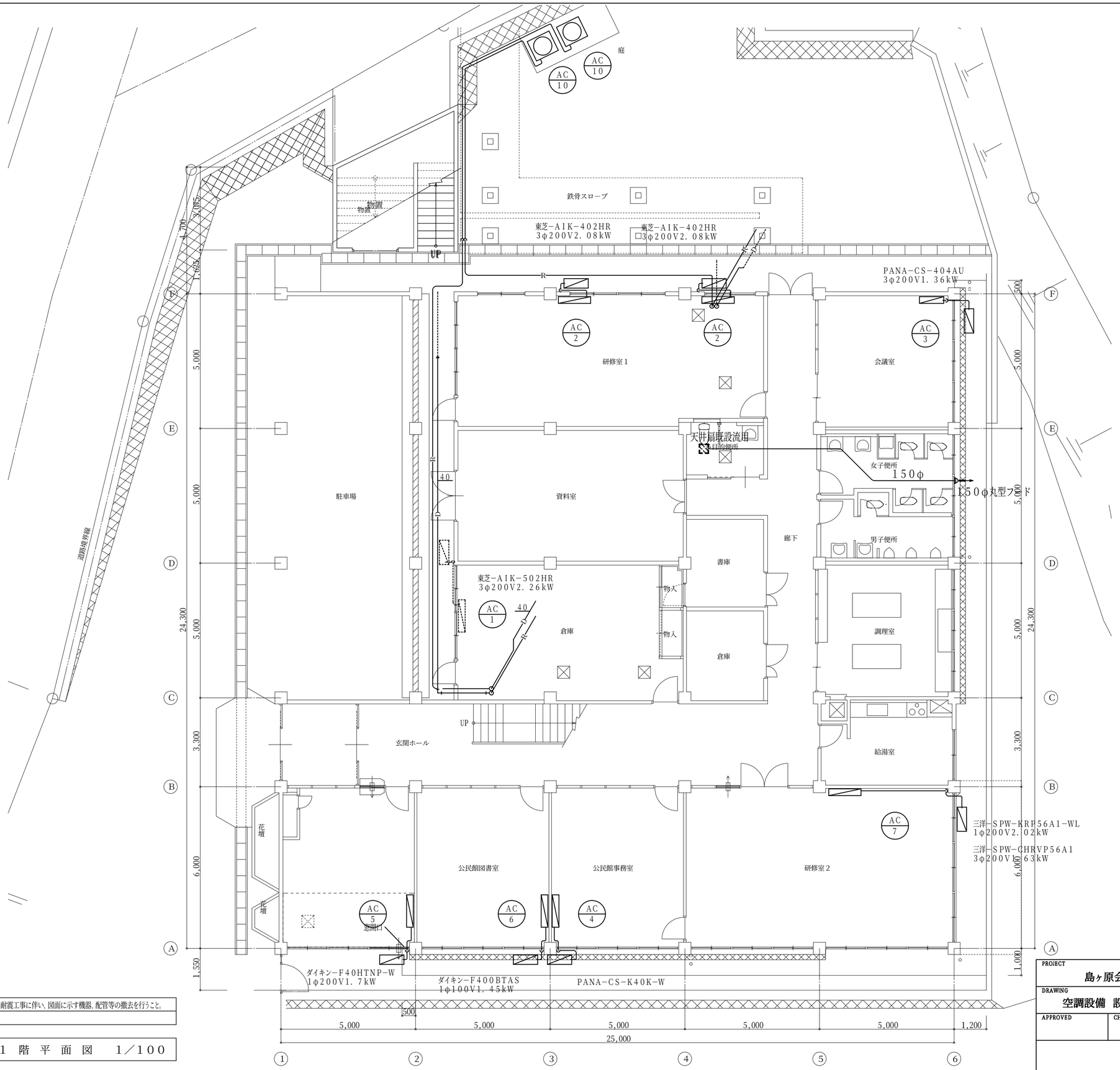
（新設）

空調機器表　空冷ヒートポンプ式エアコン

記号	機器名		機器仕様	電源容量 φ	電源容量 V	電源容量 kW	台数	設置場所	備考
PAC-1	空冷ヒートポンプ式	形式	壁掛け形	3	200		1	2階和室1	内1050*228*320H
	パッケージエアコン	冷房能力	3.6(1.0~4.0) kW	消費電力	冷房	0.836			外780*290*550H
		暖房能力	4.0(0.8~6.4) kW		暖房	0.936			電線・開閉器=1.6・15A
	APF:5.5	冷媒配管	液管6.4Φ ガス管12.7Φ		低温	1.82			
	AKSA04055	付属品	リモコン、他一式共		圧縮機	1.1			
PAC-2	空冷ヒートポンプ式	形式	壁掛け形	3	200		1	1階会議室	内1050*228*320H
	パッケージエアコン	冷房能力	5.0(1.2~5.6) kW	消費電力	冷房	1.42			外780*290*550H
		暖房能力	5.6(0.9~7.3) kW		暖房	1.47			電線・開閉器=2.0・15A
	APF:5.4	冷媒配管	液管6.4Φ ガス管12.7Φ		低温	2.50			
	AKSA05655	付属品	リモコン、他一式共		圧縮機	1.1			
PAC-3	空冷ヒートポンプ式	形式	壁掛け形	3	200		3	1階公民館事務室	内1050*228*320H
	パッケージエアコン	冷房能力	5.6(1.8~6.3) kW	消費電力	冷房	1.43		1階会館管理事務室	外900*320*890H
		暖房能力	6.3(1.3~9.1) kW		暖房	1.64		1階公民館図書室	電線・開閉器=2.0・20A
	APF:5.3	冷媒配管	液管6.4Φ ガス管12.7Φ		低温	2.83			
	AKSA06355	付属品	リモコン、他一式共		圧縮機	1.1			
PAC-4	空冷ヒートポンプ式	形式	壁掛け形ツイン	3	200		1	1階研修室1	内1050*228*320H*2
	パッケージエアコン	冷房能力	12.5(2.6~14) kW	消費電力	冷房	3.83			外900*320*1340H
		暖房能力	14.0(2.4~18) kW		暖房	3.78			電線・開閉器=5.5°・30A
	APF:4.8	冷媒配管	液管9.5Φ ガス管15.9Φ		低温	6.00			
	AKSB14055	付属品	リモコン、他一式共		圧縮機	2.5			
PAC-5	空冷ヒートポンプ式	形式	天吊り形	3	200		1	2階和室2.3	内1270*690*235H
	パッケージエアコン	冷房能力	5.6(1.8~6.3) kW	消費電力	冷房	1.52			外900*320*890H
		暖房能力	6.3(1.3~9.1) kW		暖房	1.65			電線・開閉器=2.0・20A
	APF:5.4	冷媒配管	液管6.4Φ ガス管12.7Φ		低温	2.5			
	ACSA06375	付属品	リモコン、他一式共		圧縮機	1.1			
~~PAC-6~~	~~空冷ヒートポンプ式~~	~~形式~~	~~天吊り形~~	~~3~~	~~200~~		~~1~~	~~1階倉庫~~	~~内1586*690*235H~~
	~~パッケージエアコン~~	~~冷房能力~~	~~10.0(2.6~11.2) kW~~	~~消費電力~~	~~冷房~~	~~2.80~~			~~外900*320*1340H~~
		~~暖房能力~~	~~11.2(2.4~15.6) kW~~		~~暖房~~	~~2.88~~			~~電線・開閉器=5.5°・30A~~
	~~APF:5.4~~	~~冷媒配管~~	~~液管9.5Φ ガス管15.9Φ~~		~~低温~~	~~4.38~~			
	~~ACSA11275~~	~~付属品~~	~~リモコン、他一式共~~		~~圧縮機~~	~~1.7~~			
PAC-7	空冷ヒートポンプ式	形式	天吊り形	3	200		2	1階研修室2	内1586*690*235H
	パッケージエアコン	冷房能力	12.5(2.6~14.0) kW	消費電力	冷房	4.29		2階中会議室	外900*320*1340H
		暖房能力	14.0(2.4~18.5) kW		暖房	3.78			電線・開閉器=5.5°・30A
	APF:5.0	冷媒配管	液管9.5Φ ガス管15.9Φ		低温	6.13			
	ACSA14075	付属品	リモコン、他一式共		圧縮機	2.5			
PAC-8	空冷ヒートポンプ式	形式	天井カセットーツイン	3	200		1	2階ロビー	内840*840*256H
	パッケージエアコン	冷房能力	12.5(2.6~14.0) kW	消費電力	冷房	3.86			外900*320*1340H
		暖房能力	14.0(2.4~20.0) kW		暖房	3.74			電線・開閉器=5.5°・30A
	APF:5.3	冷媒配管	液管9.5Φ ガス管15.9Φ		低温	6.19			
	AUSB14065	付属品	化粧パネル、リモコン、他一式共		圧縮機	2.5			
PAC-9	空冷ヒートポンプ式	形式	床置き形	3	200		3	2階ふれあいホール	内880*450*1750H
	パッケージエアコン	冷房能力	25.0(6.0~28.0) kW	消費電力	冷房	9.05			外990*750*1800H
		暖房能力	28.0(6.0~31.5) kW		暖房	8.32			電線・開閉器=14°・60A
	APF:3.6	冷媒配管	液管12.7Φ ガス管25.4Φ		低温	11.58			
	AFSA28054B2	付属品	木台、他一式共		圧縮機	2.7*2			

注記
*1. 室外機ー室内機間の2次側配線（EEF2.0ー3C）は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。
*2. 型番・電源容量値は参考とする。
*3. 運転特性、能力はJIS条件による。
*4. 室外機：基礎150H（タイガーベース相当）・防振ゴム板敷・転倒防止支持金具取付のこと。※PACー9のみ既設基礎流用
*5. A・・・ハツリ貫通及び補修ヶ所を示す。

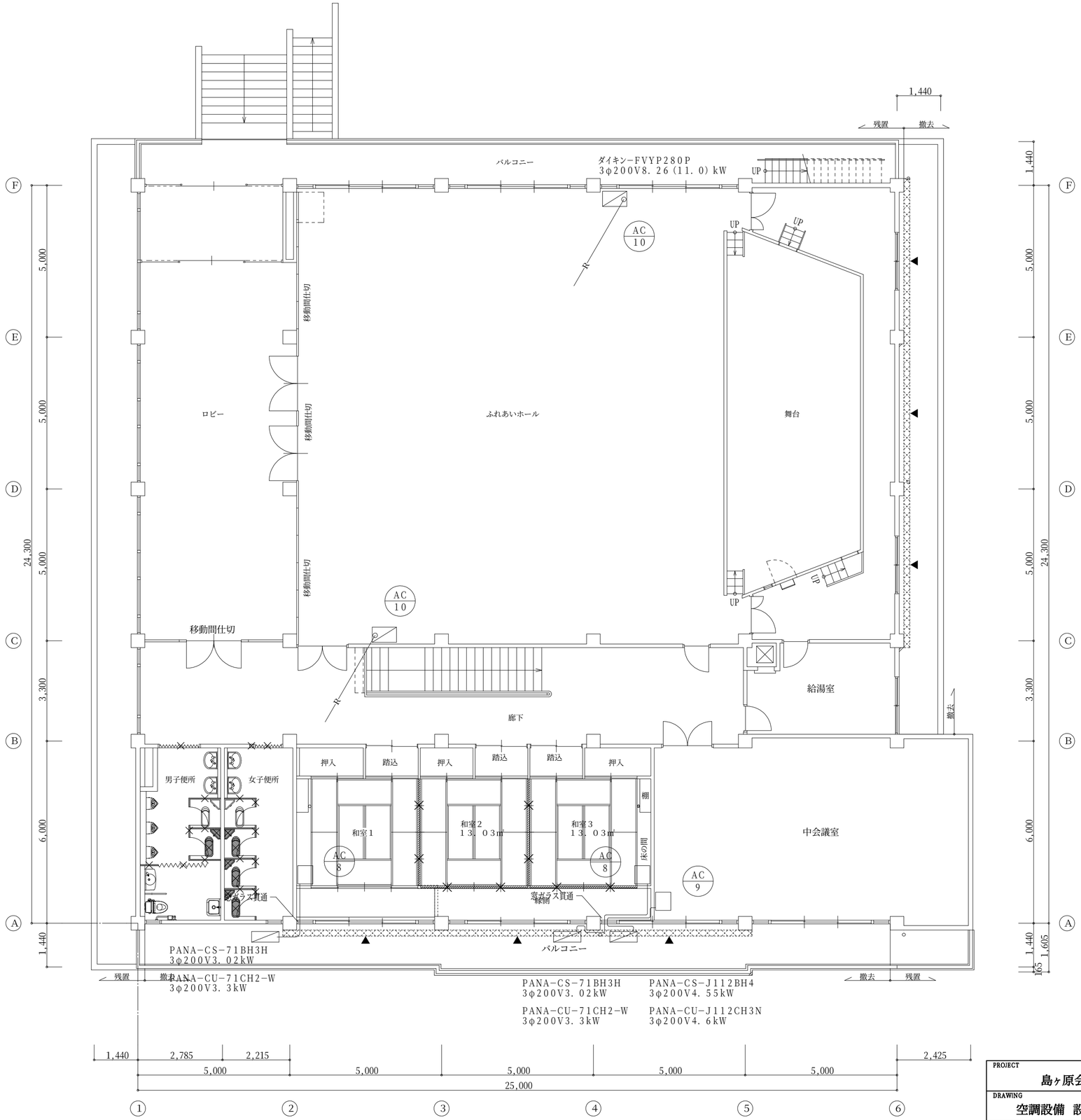
PROJECT 島ヶ原会館 耐震補強工事			PROJECT NO.
DRAWING 空調設備 機器表			SCALE
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E—11



注 耐震工事に伴い、図面に示す機器、配管等の撤去を行うこと。

1 階 平 面 図 1／100

PROJECT 島ヶ原会館 耐震補強工事			PROJECT NO.
DRAWING 空調設備 設備図(1階) 既設撤去図			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E−12



2 階 平 面 図　1／100

PROJECT 島ヶ原会館 耐震補強工事			PROJECT NO.
DRAWING 空調設備　設備図（2階）既設撤去図			SCALE 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO. E−13

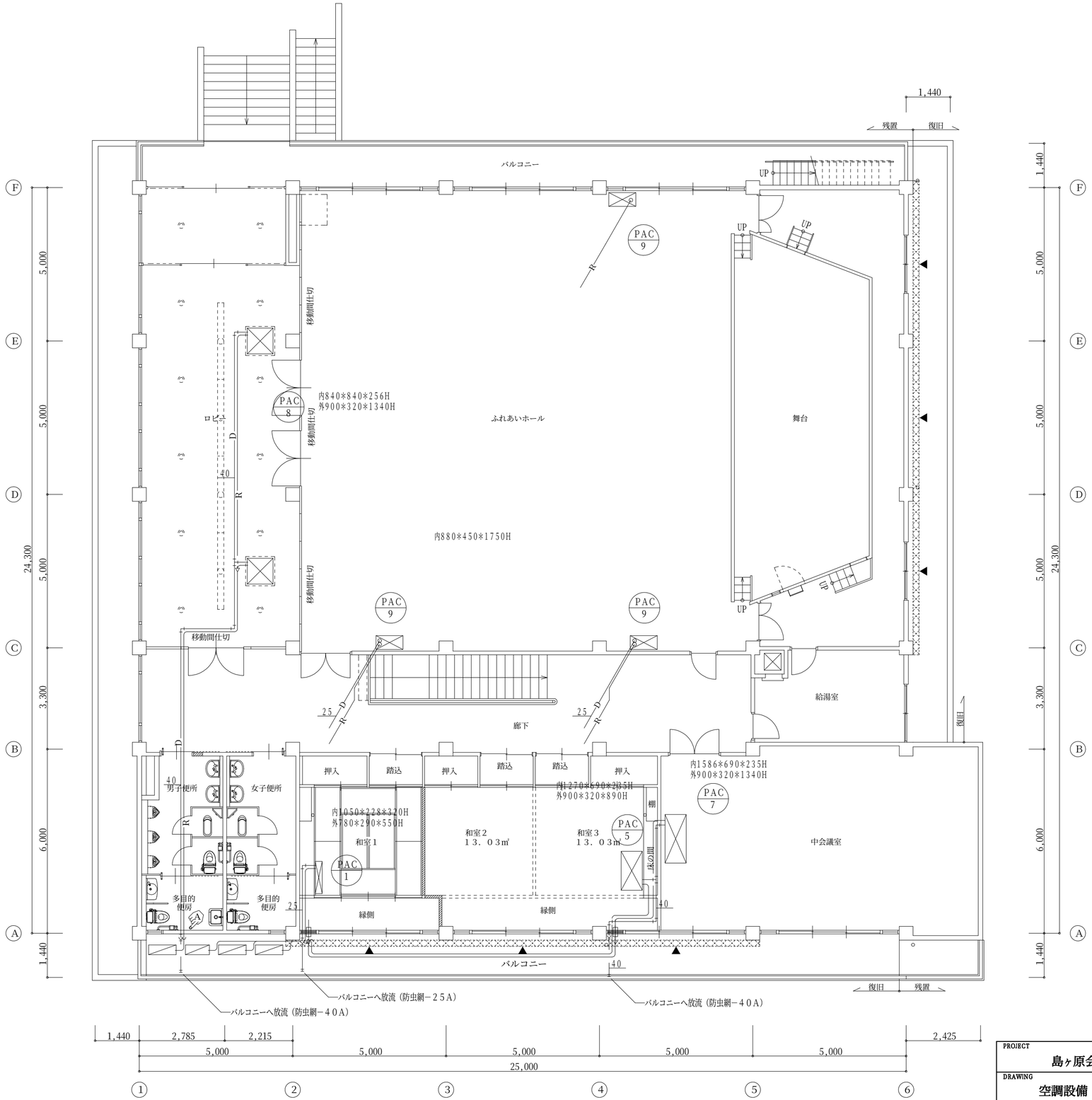
PAC 9
PAC 9
PAC 9
外990*750*1800H
鉄骨スロープ
物置
UP
側溝へ放流（防虫網－40A）
溝ハツリ及び補修ヶ所を示す。
150φ丸型フード
既設ドレン管に接続（40A）
PAC 4
内1050*228*320H*2
外900*320*1340H
研修室1
150φ SD
PAC 2
内1050*228*320H
外780*290*550H
会議室
駐車場
資料室
多目的便所
女子便所
男子便所
廊下
書庫
物入
倉庫
AC 1
天井900*900ビス止め
調理室
給湯室
UP
玄関ホール
花壇
花壇
内1050*228*320H
外900*320*890H
公民館図書室
公民館事務室
研修室2
PAC 3
PAC 3
PAC 3
PAC 7
内1586*690*235H
外900*320*1340H
道路境界線
5,000
5,000
5,000
5,000
3,300
6,000
1,550
24,300
1,000
500
1,200
25,000
1,025
3,085
1,700
A
B
C
D
E
F
1
2
3
4
5
6

注　耐震工事に伴い、図面に示す機器、配管等の新設を行うこと。

------ ハツリ貫通及び補修ヶ所を示す。

1　階　平　面　図　　1／100

PROJECT: 島ヶ原会館 耐震補強工事			PROJECT NO.
DRAWING: 空調設備　設備図（1階）改修後			SCALE: 1:100
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE
			DRAWING NO.: E－14



2 階 平 面 図　1／100

PROJECT 島ヶ原会館 耐震補強工事			PROJECT NO.	
DRAWING 空調設備　設備図（2階）改修後			SCALE 1:100	
APPROVED	CHECKED	DRAWN	DATE	
			DRAWING NO. E－15(E)	